

◇…比較的できている点
◆…課題のある点

小学校算数

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決し、解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

結果概要

- ◇数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができている。
- ◆異分母の分数の加法の計算をすることに課題がある。
- ◆図形の定義と作図の仕方が十分に理解できていない可能性がある。

<分類・区分別集計結果>

集計結果

対象児童数		王寺町立王寺南義務教育学校	奈良県（公立）	全国（公立）
		128	8,831	838,388

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
全体		18	82	58	58.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	85.4	82.5	82.3
	B 図形	4	82.3	57.2	58.2
	C 測定	2	57.0	53.1	54.8
	C 変化と関係	3	58.5	58.8	57.5
	D データの活用	5	83.4	81.8	82.8
評価の観点	知識・技能	9	70.7	85.8	85.5
	思考・判断・表現	7	50.0	48.0	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	8	71.5	87.8	87.2
	短答式	6	87.1	83.8	84.0
	記述式	4	38.7	34.8	34.8

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

Legend: 貴校 (Red line), 奈良県（公立） (Blue line with dots), 全国（公立） (Black dashed line)

領域	貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
A 数と計算	85.4	82.5	82.3
B 図形	82.3	57.2	58.2
C 測定	57.0	53.1	54.8
C 変化と関係	58.5	58.8	57.5
D データの活用	83.4	81.8	82.8

学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

数と計算

- ◇数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができている。
- ◆異分母の分数の加法の計算をすることに課題がある。

具体的な設問例
(大問3(4))

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算する。

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

正答率：77.3%

指導改善のポイント

- ・定期的に基礎問題を振り返る。
- ・分数の表し方を様々な図の形であらわすことで、分数の大きさについての理解を図る。
- ・通分の仕方など、筋道立てて説明できる機会を設ける。
- ・自分の考え方を児童自らがふり返えられるように、ノートに記述するように指導する。

図形

◆図形の定義と作図の仕方が十分に理解できていない可能性がある。

具体的な設問例 (大問2 (1))

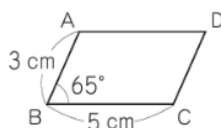
示された平行四辺形をかくために、コンパスを開く長さをかき、
コンパスの針を刺す場所を選ぶ

2

正答率：51.6%

わかなさんたちは、いろいろな図形について学習してきたことをふり返っています。

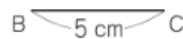
(1) 下のような平行四辺形A B C Dがあります。



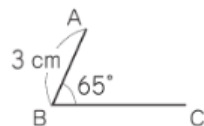
わかなさんは、右の【わかなさんのかき方】のように、平行四辺形A B C Dをかいています。

【わかなさんのかき方】

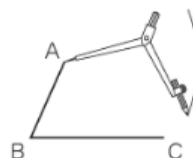
- ① 長さが 5 cm になるように辺 BC をかきます。



- ② 角 B の大きさが 65° で、長さが 3 cm になるように辺 AB をかきます。



- ③ コンパスを使って、頂点 D の位置を決めます。
コンパスを 5 cm (辺 BC の長さ) に開き、
コンパスの針を頂点 A にさして、円の一部をかきます。



【わかなさんのかき方】の③でできた図は、下のようになりました。



このあと、頂点 D の位置を決めるために、コンパスをもう一度使います。
コンパスを何 cm に開きますか。答えを書きましょう。
また、コンパスの針をさす場所を、頂点 A、頂点 B、頂点 C の中から 1 つ
選んで書きましょう。

指導改善のポイント

- ・自分の考え方以外の作図方法の理解を深めるために、他者の考えを共有する時間を確保する。
- ・必要な情報を結び付け、筋道立てて説明できるように、「まず」「次に」などの表現方法を押さえ、順序立てて説明する機会を設ける。
- ・単語で回答する児童に対して、補助発問を行い、論理的に説明できるようにする。